



求めるヒントがきっとある。
- 茨城県教育研修センター令和7年度研究発表会を実施します -

県教育研修センターでは、事業の一環である「教育研究」の成果を県内外の教育関係者に向けて発表し、その理解と普及を図り、本県教育の向上に資することを目的として、研究発表会を下記のとおり開催いたします。

2日間で延べ450人を超える教育関係者が集い、研究発表に加えて、基調講演やワークショップ等を行います。つきましては、これからの本県教育について協議する様子を、ぜひ御取材ください。

記

1 期日、内容、開催方法等

期日	内容	開催方法	時間	講師等
8月 7日 (木)	教職に関する研究 『学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育 ―「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切にする探究的な学びを通して―』	オンライン	9:30～16:00	筑波大学 教授 藤田 晃之 氏
	特別支援教育に関する研究 『特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方 ―自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通して―』	集合型	9:30～16:00	筑波大学 教授 小島 道生 氏
8月 8日 (金)	教科に関する研究 『自立した学習者を育む学校 ―教員の組織的な授業改善を通して―』	オンライン	9:30～12:45	なし

2 会場（集合型） 県教育研修センター（笠間市平町1410）

3 参加者 約100人（集合型） 約350人（オンライン）

4 その他 詳細は、別添のちらしを御参照ください。

【本資料についてのお問い合わせ先】

県教育研修センター情報教育課 大枝

TEL 0296-78-3211

令和7年度

研究発表会

求めるヒントがきっとある。

開催日

令和7年8月7日(木)・8日(金)

◆教職に関する研究

8月7日(木) 9:30～16:00

オンライン
150名

「学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育
—『できること』『意義を感じる』『したいこと』
を大切にする探究的な学びを通して—」

講師

筑波大学 藤田晃之 教授

基調講演「学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育
～今求められるキャリア教育とは～」

学校の体制づくり、探究的な学習活動、キャリア・カウンセリング等の実践を通して、自己の将来を見据えた学びの実現に向けたキャリア教育の在り方を追究します。

教職に関する研究
(オンライン)
申込はこちらから

◆特別支援教育に関する研究

8月7日(木) 9:30～16:00

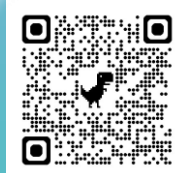
集合
100名

学びに向かう“まなびーん”を育てよう

「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の
学びに向かう力を育む支援の在り方
—自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通して—」

講師

筑波大学 小島道生 教授 講義・指導講評

特別な教育的支援を必要とする児童生徒の「学びの持続」につながる“3つのステップ”を提案します。
教師自身の学びについても一緒に考えましょう。特別支援教育に関する
研究(集合)
申込はこちらから

◆教科に関する研究

8月8日(金) 9:30～12:45

オンライン
200名

「自立した学習者を育む学校 —教員の組織的な授業改善を通して—」

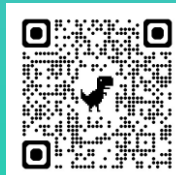
小学校 「AARサイクルを軸とした教員の協働的な授業改善」

中学校 「教員の協働的な学びと個別の実践の往還による組織的な授業改善」

高等学校 「オンラインプラットフォームを活用した、教科と時間を越える教員の探究的な授業改善」

組織が変われば、授業が変わる!

小・中・高の研究報告とインタビューにより、学校全体で組織的に授業改善を進めるためのヒントを提案します。

教科に関する研究
(オンライン)
申込はこちらから

参加者受付

令和7年6月2日(月)より開始 締切 令和7年7月18日(金)

上記の二次元コードよりお申し込みください。Plantのアカウントをお持ちの方は、全国教員研修プラットフォーム(Plant)からも申し込み可能です。研究発表会の詳細は所属長宛て文書をご確認ください。

問い合わせ 教職教育課:0296-78-3212 教科教育課:0296-78-3213 特別支援教育課:0296-78-4437

※本ポスターを校内に掲示いただく際には、可能であればA3で印刷し、掲示をお願いします。

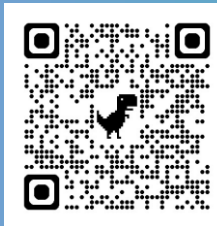
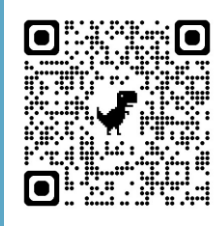
令和7年度

研究発表会

求めるヒントがきっとある。

開催日

令和7年8月7日(木)・8日(金)

8/7 (木)	受付 9:00 ～ 9:30	午前の部 オンライン (150名) 教職に関する研究 研究の概要 基調講演 「学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育 ～今求められるキャリア教育とは～」 講師 筑波大学 藤田晃之 教授 実践発表 ルーム1 那珂市立第二中学校 ルーム2 北茨城市立中郷第一小学校	午後の部 実践発表 ルーム1 つくば市立沼崎小学校 筑西市立明野五葉学園 (後期課程) ルーム2 桜川市立岩瀬西中学校 県立鉾田第二高等学校 県立藤代紫水高等学校
		特別支援教育に関する研究 集合 (100名) 研究の概要 成果物の紹介 実践発表  ワークショップ 講義・指導講評 講師 筑波大学 小島道生 教授	
8/8 (金)	受付 9:00 ～ 9:30	午前の部 オンライン (200名) 教科に関する研究 研究の概要 研究報告・登壇者インタビュー 常総市立絹西小学校 鉾田市立鉾田北中学校 県立伊奈高等学校	教職に関する研究 (オンライン) 申込はこちらから  特別支援教育に関する研究 (集合) 申込はこちらから  教科に関する研究 (オンライン) 申込はこちらから 

参加者受付

令和7年6月2日(月)より開始

締切 令和7年7月18日(金)

上記の二次元コードよりお申し込みください。Plantのアカウントをお持ちの方は、全国教員研修プラットフォーム(Plant)からも申し込み可能です。研究発表会の詳細は所属長宛て文書をご確認ください。

❖教職に関する研究

<問い合わせ>教職教育課：0296-78-3212

「学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育
 —『できること』『意義を感じる』『したいこと』
 を大切にする探究的な学びを通して—」

【内 容】
 学校の体制づくり、探究的な学習活動、キャリア・カウンセリング等の実践を通して、自己の将来を見据えた学びの実現に向けたキャリア教育の在り方を追究します。

【日 程】
 午前の部：研究の概要、基調講演、研究報告、実践発表
 午後の部：実践発表

【研究協力校及び実践発表者】()は現任校
 北茨城市立中郷第一小学校 教諭 藤田 早紀
 つくば市立沼崎小学校 教諭 圓島 康平
 那珂市立第二中学校 教諭 所 大輔
 筑西市立明野五葉学園(後期課程) 教諭 谷口 詩織
 桜川市立岩瀬西中学校 教諭 藤井 貴広
 県立鉾田第二高等学校 教諭 雑賀 将大
 県立藤代紫水高等学校 教諭 柴田 充規(県立並木中等教育学校)

❖特別支援教育に関する研究

<問い合わせ>特別支援教育課：0296-78-4437

「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方
 —自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通して—」

【内 容】
 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の「学びの持続」につながる“3つのステップ”を提案します。教師自身の学びについても一緒に考えましょう。

【日 程】
 午前の部：研究の概要、成果物の紹介、実践発表
 午後の部：ワークショップ、講義・指導講評

【実践発表者】()は前任校
 水戸市立内原小学校 教諭 鶴岡 恵里子
 土浦市立神立小学校 教諭 岡野 裕美
 鹿嶋市立平井中学校 教諭 渡邊 弥生
 行方市立麻生中学校 教諭 石田 敦史
 県立北茨城特別支援学校 教諭 根本 陽介(県立高萩高等学校)
 県立結城第二高等学校 教諭 細谷 那津希
 県立常陸太田特別支援学校 教諭 長尾 知香子(県立水戸飯富特別支援学校)
 県立境特別支援学校 教諭 佐々木 顕

❖教科に関する研究

<問い合わせ>教科教育課：0296-78-3213

「自立した学習者を育む学校 —教員の組織的な授業改善を通して—」

【内 容】
 「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、多様な子ども一人一人が自立した学習者として学び続けていくことができるよう、学校全体で組織的に授業改善を進めるためのヒントを提案します。

小学校 「AARサイクルを軸とした教員の協働的な授業改善」
 中学校 「教員の協働的な学びと個別の実践の往還による組織的な授業改善」
 高等学校 「オンラインプラットフォームを活用した、教科と時間を越える教員の探究的な授業改善」

【研究協力校及び登壇者】()は現任校
 常総市立絹西小学校 教諭 増田 淳二
 教諭 岡崎 直也(つくばみらい市立伊奈東小学校)
 鉾田市立鉾田北中学校 教諭 堀江 優太(つくばみらい市立陽光台小学校)
 教諭 小島 大輝
 県立伊奈高等学校 教諭 土屋 光
 教諭 白水 矩子